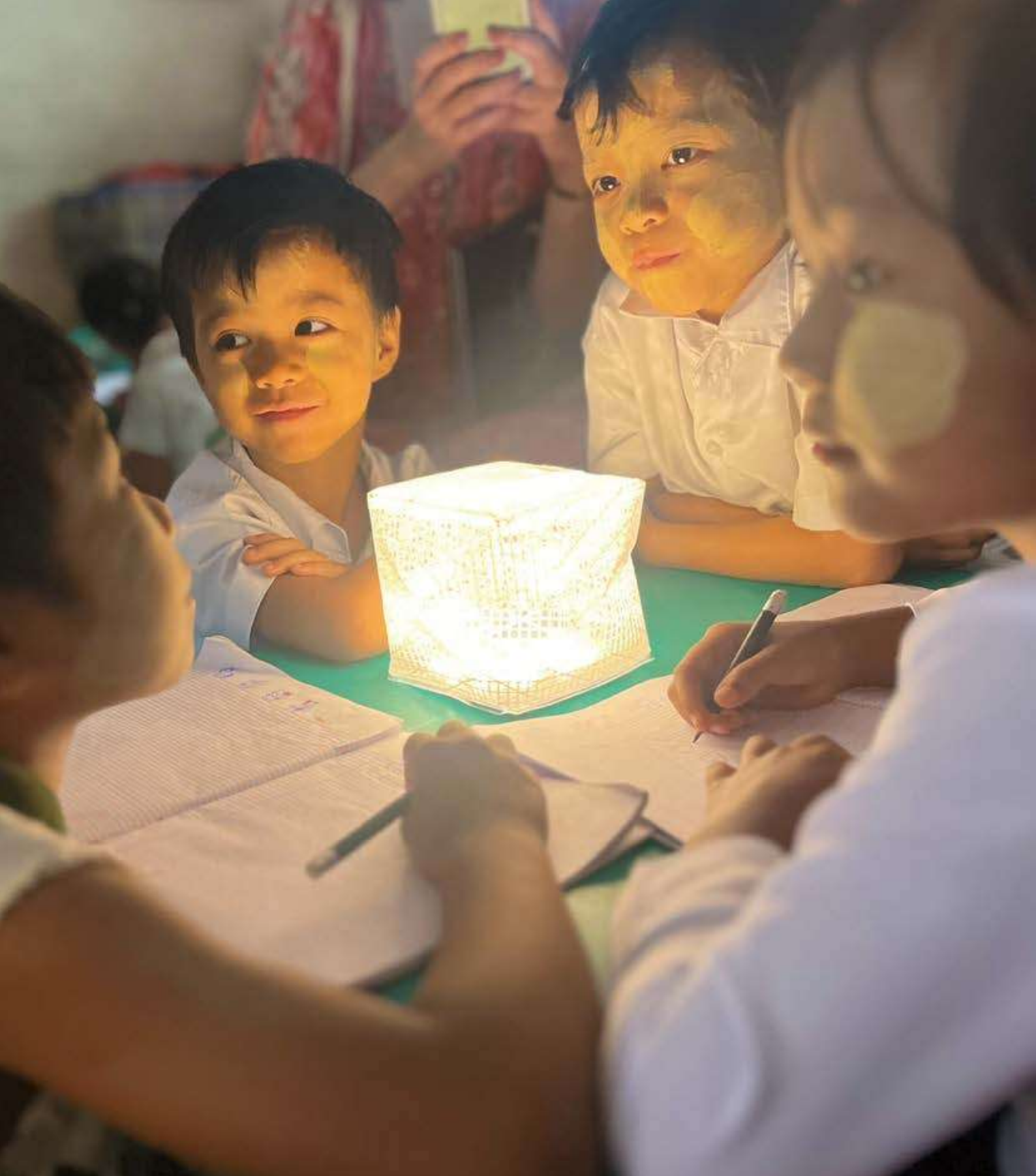




2025 Annual Report

2025.4 - 2026.3

認定NPO法人 地球市民の会 | 2025年度 年次報告書





新しい接点が広がり、

担い手の循環が見えてきた一年

2025年度も温かいご支援をいただき、ありがとうございました。この一年は、世界とつながる機会や新しい人との接点が広がるとともに、支援を受けた人が次の担い手へとつながっていく姿が見えてきた一年でした。

トンガとの万博国際交流事業や各地でのイベント、木陰礼讃カフェを通じて、地域や国を越えた出会いが生まれました。また、ミャンマーのタンボジセンターの卒業生が活動を支える側として関わり、佐賀では在住外国人が地域防災の担い手として動き始めています。支援の先に新たな担い手が育つ循環は、私たちが目指す「地球市民」のあり方そのものです。

その循環をさらに育てていくために、地球市民エアメールの配信開始や奨学金事業のリニューアル準備、新しい理事会体制への移行準備も進めました。この兆しを確かな変化へとつなげられるよう、新しい体制のもとで歩みを進めていきます。

目次

3	2025年度トピック	18	2025年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告
4	2025年度 事業概要	19	新体制紹介
5	スタッフ一覧	20	私たちについて
6	事業紹介	21	ご支援について

NEWS 3 topics

2025年度は、世界と地域をつなぐ新しい接点が広がるとともに、支援の受け手が次の担い手へと育っていく姿が見えはじめた一年でした。また、そうした活動を次の時代へつないでいくために、組織のあり方を見直す動きも進みました。



1 トンガ万博交流

トンガから高校生6名を含む11名を佐賀に迎え、佐賀市内の高校生との万博国際交流事業を実施しました。気候変動や防災をテーマにしたワークショップを中核に、異なる地域に生きる高校生同士が課題を共有し、対話を重ねました。ホームステイや市民参加型の「トンガフェス」も通じて交流を深め、自らの地域を見つめ直し、未来を担う主体として行動する意識を育む機会となりました。



2 セーフティネットワーク構築事業

休眠預金を活用したセーフティネットワーク構築事業は、2025年度で2年目を迎えました。1月には、19名で構成される地域防災担い手チーム「SAGA Safety One Team」を発足。地域のために何かしたいという思いを持つ多様なメンバーが集まり、佐賀県内で活動を始める第一歩となりました。災害時に外国人が支援から取り残されないことに加え、日本人と同じように地域の構成員として課題に向き合える土壌づくりを進めています。



3 よりよい組織に向けて

2025年度は、理事会体制の見直しに向けて、組織のあり方を丁寧に議論した一年でした。理事18名体制は心強さがある一方で、意思決定の遅れやコミュニケーションコストの増大、議論の深まりにくさといった課題も抱えていました。経営会議、若手理事有志、シニア理事、職員兼務理事など、立場を越えて対話を重ね、新体制を模索。「地球市民を増やす」という理念と、働きがいのある組織づくりに向け、より機動的で実効性のある体制への刷新準備を進めました。

「地球市民」とわたしたちの活動

他の人の幸せを自分の幸せとして感じられる人を「地球市民」と定義づけ、地域・日本・世界で活動する人材を育成しています。多くの感動を集め、多くの仲間と分かち合う。与えあい、ともに学ぶ。私たちは地球市民の輪を広げ、新しい価値を生み出していくための活動をしています。

わたしたちのミッション

世界平和と地域社会の持続可能な向上・発展を実現するため、地球市民が活躍する場を作ること

活動領域



今、つらい人に寄り添う

人災、天災が日本・世界各地で発生し、被災した方々はつらい状況にいます。今、支援を必要としている人に寄り添い、迅速で適切な支援を、他団体と連携し活動しています。



世界とつながる機会をつくる

様々な形で世界とつながる機会を提供し「地球市民」として行動できる人を増やします。地域や世界の課題を自分事として考えられる地球市民を育成しています。



地域を元気にする

国内外問わず、地域の方が主体性を発揮し、いきいきとした地域社会を創造するサポートを行っています。地域の課題を解決することで持続可能な地域づくりを行います。



学ぶ機会をつくる

日本・アジアの脆弱な立場に置かれた人に様々なスキルの習得や教育へアクセスできる機会を提供しています。地球市民として、地域の発展のため行動できる人材を育成します。

2025年度の活動

活動領域	事業内容
 今、つらい人に寄り添う	ミャンマー緊急支援 P 6
 世界とつながる機会をつくる	トンガ・佐賀万博国際交流事業 P 7 SDGs 推進プログラム P 8 ミャンマーコーヒー事業 P 9
 地域を元気にする	在留外国人・セーフティネット事業 P 10 ウクライナ避難民受け入れ支援 P 11 子どもの居場所づくり事業 P 12 国内災害支援事業 P 13 ミャンマー地域開発事業 P 14 ミャンマー環境保全・植林事業 P 15 トンガ災害支援事業 P 16
 学ぶ機会をつくる	地球市民奨学金 P 17

事務局・スタッフ紹介

日本 | 本部事務局（佐賀）

佐賀県佐賀市にある本部事務局。国内事業をはじめ海外事業のコーディネート業務などを行う。



岩永 清邦
副理事長 /
国内事業統括



藤瀬 伸恵
副理事長 /
海外事業統括



濱田 裕子
総務統括



大熊 奨
海外事業担当



牧野 沙也香
海外事業担当



古川 久美子
コーヒー事業担当



西津 美咲
国内事業担当



小畑 良子
国内事業担当

日本 | 名古屋デスク

ミャンマー事業のコーディネート業務に加え、近隣へのファンドレイジングや講演活動を展開。



柴田 京子
理事 / 海外事業統括

ミャンマー | ナウンカ村落開発センター

ミャンマーシャン州ナウンカにあり、循環型農業研修を実施。



クン・ソー・アウン
センター長



クン・シュエ・トー



クン・ティー・レー

ミャンマー | タンボジ農業畜産研修センター

ミャンマーシャン州ニャウンシュエにあり、高校生に教育・農業・学ぶ機会を提供。



マ・ワー・ワー・ライン
センター長



ウ・ウィン・シュエ



ドー・キン・サン・ウー



マ・ウェイ・ウェイ・アウン

ミャンマー | ミャンマー事務所

ミャンマーで実施するプロジェクトの管理。



鈴木 亜香里
理事 /
総務統括



サイ・トゥン・エー



クン・ソー・
ゾウ・マウン



サライ・ハン・ミン・
トゥ・ルエ



コ・マンリン



マ・モー・
モー・トゥエ



マ・ミョー・
ティーダ



ム・シュエ
リー・ウィン

ミャンマー | ライレンピー持続可能開発センター

ミャンマーチン州ライレンピーにあり、循環型農業やアグロフォレストリー農法の研修を実施。



ウ・ザベタン
センター長



ウ・ゾー・リン



マ・グンティ



マ・トゥライ・ゼ



ウ・ビエラ



ウ・ビエロ

※ 2026 年 5 月現在



今、つらい人に寄り添う | ミャンマー緊急支援

支援者の想いを、現地の「生きる力」へ



ミャンマー—ザガイン地域、マンダレー地域、シャン州など

topics

1 支援者と共に歩んだ、緊急支援プロジェクトが無事に完了

2 オンライン報告会を通じ、被災地の「今」と「感謝」を共有

2025年3月28日に発生したミャンマー中部地震に際し、皆様の温かいご支援により、830万円を超えるご寄付が寄せられました。当会は、これまでに築いてきた現地のネットワークを活かし、発災直後から迅速に活動を開始。食料や灯りの配布、崩れてしまった家や学校の修繕、現金給付など、3,000世帯以上の方々へ直接支援を届け、すべてのプロジェクトを無事に終えることができました。また、支援の締めくくりとして、詳細な活動報告書の作成やオンライン報告会を実施しました。画面越しに現地の様子と感謝を直接お届けできたことは、私たちにとっても大きな喜びとなりました。改めて、温かいご支援、本当にありがとうございました。

メッセージ

ム・シュエリー・ウィン
タウンジー事務所



地震により苦しむ人々の姿を目の当たりにし、胸が痛みました。しかし今は、皆さまの温かいご支援により、その光景は大きく変わりました。人々の顔には笑顔や安堵、新たな希望が戻り、生活にも確かな変化が生まれています。ご支援は再び立ち上がる力となり、その姿を目にできたことを嬉しく思います。心より感謝いたします。

実施概要

受益対象者 | 3,000世帯、約15,000人
支 援 者 | 地震緊急支援への寄付者の皆様829人
(内企業、団体：23社/団体)
従 事 者 | 20人



世界とつながる機会をつくる | トンガ・佐賀万博国際交流事業

佐賀で万博国際交流事業を実施



日本
— トンガ
— 佐賀県佐賀市

topics

1 トンガと佐賀の高校生による
万博交流プログラムを実施

2 気候変動・防災をテーマに
した対話と共同学習を実施

トンガから高校生6名を含め11名が来日し、佐賀県佐賀市の高校生との交流事業を実施しました。気候変動や災害をテーマとしたワークショップを中核に据え、異なる地域に生きる高校生が課題を共有し対話を重ねました。交流やホームステイを通じて相互理解を深めるとともに、自らの地域を見つめ直し、未来を担う主体として行動する意識の醸成につながりました。「トンガフェス」も開催し、多くの市民の方と一緒に日本トンガの文化交流を楽しみました。

メッセージ

岩永陸さん
龍谷高等学校



トンガの生徒たちとの対話で、自分の視野が広がったと感じます。特に、限られた資源の中で工夫して生活している姿に刺激を受けました。また、自分の意見を相手に伝える難しさと、それが伝わったときの達成感の両方を体験しました。この経験から、異なる背景を持つ人と対話しながら課題に向き合うことの重要性を学びました。

実施概要

受益対象者 | 約18人、トンガ招聘政府関係者等
5名、交流 約600人

従事者 | 20人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀市 | 株式会社 西原商会 | ロッキーマ株式会社
NPO法人 日本トンガ友好協会 | 佐賀市立川副中学校
青年海外協力隊トンガOV会 | 学校法人 佐賀龍谷学園
社会福祉法人 緑光舎ひなた村自然塾
一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム等



世界とつながる機会をつくる | SDGs推進プログラム

SDGs Academy 2025 in 釜山開催！

韓国
釜山

topics

1 東アジアの共通SDGsを日韓の学生で共有し、国を超えた交友関係を構築

2 国を超えた交友関係を構築

創設当初の「かちがらす計画」から続く国際交流事業として、2025年度は韓国・釜山で日韓青少年交流事業を実施しました。日本人大学生5名、韓国人大学生8名に加え、当会から理事4名、スタッフ2名が参加。釜山韓日文化交流協会との連携のもと、講義やフィールドワーク、グループワークを通じて交流を深めました。「海に囲まれた都市」という共通点のもと、SDGsゴール11・14をテーマにアクションプランを発表。文化や歴史に直接触れ、若い世代ならではの対話を重ねながら相互理解を深め、自らの地域を見つめ直し、未来を担う主体としての意識を育む5日間となりました。

メッセージ

野澤英さん

佐賀女子短期大学こども未来学科
こども教育コース

日韓で共通する課題を考え、韓国の文化や歴史にも実際に触れて学びました。グループでのアクションプラン作成と発表は、それぞれの視点や発想に個性があり、聞いていてとても刺激的で楽しかったです。現地での出会いや体験も強く心に残っています。次は佐賀で皆さんにお会いできれば嬉しいです。

実施概要

受益対象者 | 13人

従事者 | 6人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

社団法人 釜山韓日文化交流協会



世界とつながる機会をつくる | ミャンマーコーヒー事業

コーヒー事業の広がり新たなブランドづくり



ミャンマー—チン州、ライレンピー町

topics

1 ブランド「木陰礼讃」を
立ち上げ

2 収穫量が1トンに到達！

190kgから始まった収穫量は、今年、ついに1トンという大きな節目を迎えました。このミャンマーコーヒーを通じて、日本でも少しずつ、つながりの輪が広がっています。生豆を手にとってくださる焙煎士さんが全国に増え、ネット通販などを通じて、一般のお客さまにお届けできる機会も多くなりました。この半年間はブランディングにもじっくりと取り組み、「木陰礼讃(こかげらいさん)」というブランドを立ち上げ、ロゴも制作。それと並行して期間限定のカフェを運営するなど、より多くの方に気軽に楽しんでいただける「場づくり」にも力を注いでいます。現地の農家さんからは「会ったこともない日本の皆さんが応援してくれていると思うと、本当に嬉しい」という声が届いています。

メッセージ

清家晶子さん



ミャンマーコーヒープロジェクトは、支え愛、助け愛。ライレンピーセンタースタッフの皆さん、地球市民の会スタッフの皆さん、そしてアンバサダーの皆さんのコツコツとした積み重ねから、世界の平和、愛へつながっていくのでは…とコーヒーアンバサダーのチラシを見ながら色々感じました。コーヒー豆一粒、そして一滴、一杯から始まるプロジェクトです。

実施概要

受益対象者 | 約1,400人
支 援 者 | 4人
従 事 者 | 80人+ロースター15人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

コーヒーアンバサダー | ヨイマメ珈琲 | いづみや珈琲
イエナコーヒー | クリエイトコーヒーラボ | 旅館杉乃家
久芳焙煎所 | SOMOCO | STOOL | リブコーヒー | 名城大学
POLOTE COFFEE | マツハコーヒー | 喫茶ニューボビー
Blackwell Coffee | 又吉コーヒー園 | AKHA AMA COFFEE
Coffee Roaster So&So | みんなの公園 | 小戸妙見神社
みちくさCOFFEE ROASTER | NGO福岡ネットワーク
暮らしのセレクトショップDINETTE | shop&gallery白白
専門学校名古屋デザイン・アカデミー | cafe MARUGO
喜蔵 | dacco.myanmar | 就労継続支援B型ミラクル5
合同会社葉隠 | イベントボランティアメンバー



世界とつながる機会をつくる | 在留外国人支援・セーフティネット事業

在留外国人とともに築く 佐賀発の地域防災セーフティネット

日本
—
佐賀県

topics

1 交流説明会実施と自治体への
理解促進で事業周知を拡大

2 各地で担い手発掘、防災担い手
チーム「SAGA SOT」を発足

県内各地で交流説明会を実施し、在留外国人を含む地域防災の担い手づくりを進めました。自治体への働きかけと地域交流を通じて各地のキーパーソンを発掘し、地域防災担い手チーム「SAGA Safety One Team（通称：SAGA SOT／サガソット）」を発足しました。在留外国人を含む地域住民同士の顔の見える関係性と防災への関心が広がり、地域の一員として活動に関わる動きが生まれています。今後はチームによる地域活動を展開し、平時から支え合う基盤づくりを進めると同時に、チーム内の防災知識向上やスキルアップを通して、災害時でも動ける体制を構築していきます。

メッセージ

鶴田クリスティーナさん
敬愛園 介護職員



長年伊万里に住んで、昔と違い外国の方が増えました。もしもの時に誰かの役に立てればと思いSAGA SOTに参加しています。私は、日本人・外国人ともに同じ地域に住んでいる方同士を繋ぐ事が出来ればいいと思います。まだ地域と繋がっていない外国人が沢山いるので、災害時にはできるだけ誰も取り残さないで欲しいと思っています。

実施概要

受益対象者 | 約350人
従事者 | 6人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム (JPF)
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
公益財団法人 佐賀県国際交流協会 (SPIRA)
佐賀県多文化共生さが推進課
Famigo株式会社 | 社労士オフィスRINTO | 古泉志保



地域を元気にする | ウクライナ避難民受け入れ支援

理解と交流を深めたウクライナ避難民支援



日本
—
佐賀県

topics

1 講座・講演・個展など、ウクライナを知る機会を5回実施

2 ひまわり交流DAY in 三里へ招待され地域交流が拡大

ウクライナ理解講座と「ひまわり交流DAY in 三里」への参加を通じて、避難民と地域住民の交流が広がりました。避難民自身が講師となる形式を継続し、学生や地域住民の参加が増加。生活体験や文化を直接伝えることで理解が深まり、偏見や不安の軽減につながりました。また、主催側からの招待を受けて交流するなど、地域ネットワークも拡大し、避難民の自信向上と地域参加の機会が増えました。今後も多世代・多団体と連携した交流を進めていきます。

メッセージ

グルシャエワ・アリナさん
ウクライナ出身



人生でとても大変な時期に、日本の人々は私たちを理解し、温かく迎え、支えてくれています。その思いやりに心から感謝しています。TPAが企画する旅行や交流会のおかげで新しい出会いと、日本についてより深く知ることができています。ウクライナについて話す機会のおかげで、これまで知らなかった九州の場所を訪れることもできています。

実施概要

受益対象者 | 13人
支援者 | 1人
従事者 | 3人

ご支援・応援いただいた企業や団体など

SAGA Ukeire Network〜ウクライナひまわりプロジェクト〜 | 公益財団法人 佐賀未来創造基金
佐賀県行政書士会 | 小城ひまわりの会
小城市市議会議員 | NPO法人 NPOまちづくり研究所
NPO法人 poco a bocca



地域を元気にする | こどもの居場所づくり事業

子どもの居場所を地域に広げる伴走支援



日本
— 佐賀県佐賀市

topics

1 29団体に伴走し、新たに2団体が開設

2 こどもの居場所サミットに143名、高校生20名が参加

2025年度は、佐賀市内の子どもの居場所29団体への伴走支援を軸に、新たに2団体の開設を実現しました。延べ396件の相談対応や48件のボランティアマッチングを行い、現場の運営課題の解決に取り組みました。「こどもの居場所サミット」には高校生20名を含む143名が参加し、立場を超えた意見交換の場が広がりました。企業4社や大学等との連携により、物資支援や体験プログラムも実施。ニーズ調査をもとに、市立公民館の優先予約が可能になるなど、地域全体で活動を支える環境整備が前進し、子どもの居場所を支える基盤づくりが今後へ向けて一歩進んだ一年となりました。

メッセージ

王 敏詩さん

子どもの居場所
in 辻公民館・主催者



私は外国籍で、現在、佐賀市内で子育て中です。共働きで大変ですが、ママ友に背中を押され、長年胸に秘めていた「居場所づくり」を決意。県や地球市民の会、地域の方々のサポートのおかげで、昨年9月から月1回活動しています。地域のつながりが深まり、子どもたちの笑顔を見るたび励まされます。居場所を立ち上げて本当によかったです。

実施概要

受益対象者 | 子どもの居場所団体29件

従事者 | 3人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀市 | 一般社団法人佐賀子ども未来応援プロジェクト
佐賀市社会福祉協議会
一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム
佐賀北部郵便局 | 大東建託(株)佐賀支店
学校法人 旭学園佐賀女子短期大学
株式会社 佐賀バルナーズ | 明治安田生命保険相互会社
佐賀県立佐賀東高等学校 | 国立大学法人 佐賀大学



地域を元気にする | 国内災害支援事業

災害時に支え合える地域の担い手を育てる



日本
— 佐賀県佐賀市、小城市

topics

1 団体・個人向けに
災害支援研修を実施

2 研修を機に体験型研修へ
進む参加者も

2025年度は、災害時に地域で支え合える担い手を育てるため、佐賀県、佐賀県社会福祉協議会、佐賀災害支援プラットフォーム等と連携し、団体・個人向けの研修会を実施しました。県内で大規模災害は発生しなかったものの、広域化・激甚化する災害に備え、発災時にどう連携し、どう動くかを学ぶ機会をつくりました。研修をきっかけに、別の体験型研修へ参加する受講者も生まれ、地域で支援を担う人材を育てる一歩となりました。

メッセージ

新中隆明さん

一般社団法人佐賀災害支援
プラットフォーム



地球市民の会の皆様とは、県内の連携体制づくりの研修等と一緒にしています。災害時には、地域の中にある困り事が見えずに、必要な支援に繋がらないことが多々あります。その中で、皆様が日頃から築かれている繋がり大きな支えとなっています。引き続き誰も取り残さない地域づくりに向けて、共に歩んでいければ幸いです。

実施概要

受益対象者 | 約79人

従事者 | 4人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

佐賀県

佐賀県社会福祉協議会

一般社団法人 佐賀災害支援プラットフォーム



地域を元気にする | ミャンマー地域開発事業

主役は住民！自分たちで守り育てる 「持続可能な水管理」への挑戦



ミャンマー
— シャン州、リンケー地域

topics

1 ついに完成！安全な飲料水
が届ける「地域の明日」

2 地域衛生を支える
コミュニティヘルスワーカー
誕生

リンケー地域で、安全で安価な飲み水へのアクセス改善を進めています。浄水施設が完成し、全世帯が安心して飲める環境を整備中。「施設を作って終わり」にせず、住民主導の維持管理体制を構築しています。当初の予定を上回る35名の住民が委員会に集まり、ルールの明文化を進めています。また、コミュニティヘルスワーカー候補3名を選出し、村の衛生調査も開始。今後は、手洗いの習慣化や水源保全の研修など、地域に根付く自立支援を進め、住民が自らで健康と環境を守る体制の定着を目指します。

メッセージ

ナン・ラ・アウンさん
コミュニティ・ヘルス・ワーカー
(CHW)



住民が健康や衛生に関する大切な知識やルールを学んでいることを、とても意義深く感じています。何気ない行動が人命に関わる可能性を伝えられたことも、大きな喜びです。以前は水をそのまま飲んだり手洗いが不十分だったり、ごみも適当に捨てていましたが、啓発後は行動が変わり、より衛生的な生活が広がっています。

実施概要

受益対象者 | 約20,000人
従事者 | 20人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

外務省
認定NPO法人 ASHA



地域を元気にする | ミャンマー環境保全・植林事業

地域とともに育てる、環境を守る暮らしの仕組み



topics

ミャンマー
— シャン州、ピンラウンタウンシップ
ホッポンタウンシップ

1 森林農法研修を実施、雨季に6,350本の植林を実施

2 実施3年目、「ゴミを資源に」が地域に定着！

森林農法の導入に向け、住民と森林委員会が連携し、管理計画の策定と研修を継続して重ねてきました。地域で継続できる体制づくりを進め、雨季には6,350本の植林を実施しました。ゴミ対策では、若者グループが中心となり、これまで3年にわたり取り組んできた分別指導や2週に1回の収集、生ゴミの堆肥化が地域の中に定着してきました。住民自らが関わり、日常の中で環境を守る取り組みとして広がっています。

メッセージ

クン・マウン・ニユンさん
カウントー村地域代表



ゴミ管理プロジェクトのおかげで、子どもも大人も一緒にゴミ拾いをするようになり、村はとてもきれいになりました。分別もできるようになり、住民同士の関係や環境への意識も高まりました。本当に感謝しています。

実施概要

受益対象者 | 住民200名、委員10名（森林農法事業）／235世帯、約1,100名（ゴミ分別事業）

従事者 | 5人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

公益財団法人 国土緑化推進機構

公益財団法人 りそなアジアオセアニア財団



地域を元気にする | トンガ災害支援事業

生徒と共に進めるトンガ防災教育プロジェクト



トンガ—トンガタプ島、ハアバイ諸島、エウア島

topics

1 生徒と教員が避難時の課題を話し合うワークショップを実施

2 学校の実情に即した避難計画づくりが前進

2月にトンガハイスクールで防災教育ワークショップを実施しました。「正解を教える」のではなく、「自分たちの学校に合った防災を考える」ことを大切に、「避難で本当に困ることは？」をテーマに、生徒と先生と一緒に課題や必要な備えを話し合いました。2024年から訪問を重ねる中で信頼関係も深まり、前回以上に意見交換が進みました。生徒からも主体的に意見やアイデアが出ました。生徒主体で考える避難計画づくりに向けて、手応えが感じられる活動となりました。また、海底火山噴火災害の後に開始した復興支援奨学金も最終年となり、学校からは生徒の教育の支えになったことに感謝が伝えられました。

メッセージ

ジョセフォ・マイランギさん
トンガハイスクール生徒



ワークショップを通して、地震や津波などの自然災害から命を守る方法を学び、有意義な時間でした。特にチームワークや助け合いの大切さを実感し、津波危険区域にあるトンガハイスクールにとって、避難ルートを知る貴重な機会でもありました。さらにこの機会を通じて、トンガと日本との絆や相互理解も深まったと感じました。

実施概要

受益対象者 | 1,496人（先生・スタッフ96人、生徒1,400人）
支援者 | さとおや会員10人
従事者 | 3人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

独立行政法人 国際協力機構
学校法人 東洋大学
株式会社 成田空港ビジネス



学ぶ機会をつくる | 地球市民奨学金

世界の学びを支える 奨学金事業の区切りと新たなスタート



ミャンマー—
スリランカ—
ゴール市、アンバンボラ市

topics

1 27年続く奨学金事業を終了
し新たな地域でスタート

2 ミャンマーで卒業式を開催。
子どもたちが次のステージへ

今年は、理事長、副会長、奨学金担当がスリランカを訪問しました。27年間続いてきたサンガミッタ学校での奨学金事業を終了し、現地で挨拶を行うとともに、これまで築いてきた関係をこれからも大切につないでいくことを確かめました。同時に、アンバンボラ地域にて新たな奨学金事業を開始し、式典にも参加しました。ミャンマーでは、3月18日にタンボジセンターで卒業式が開催されました。さとおやの皆さんに支えられ、タンボジセンターでの3年間を終えた子どもたちが、新たな一歩を歩み出します。

メッセージ

栗林翔子さん



「地方×女性」という二重格差の改善に寄与したいと支援を始め、2024年7月に現地を訪問。何かを与えなければと気負って臨みましたが、生徒たちのエネルギーと無垢な笑顔に圧倒され、励まされたのは私のほうでした。「遠くの国に自分を想ってくれる人がある」という実感が、彼女たちにとって人生の可能性を広げる糧となることを願います。

実施概要

受益対象者 | ミャンマー高校生42人
スリランカ高校生80人
支援者 | さとおや会員 141人（団体・個人）
従事者 | 12人

ご支援・応援・連携いただいた企業や団体など

NPO法人 学び舎つばさ
筆遊会

2025年度 活動計算書・貸借対照表・監査報告書

活動計算書

(単位:円|税込)

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

経常収益	
【受取会費】	
正会員受取会費	1,733,000
学生会員受取会費	10,000
賛助寄附受取会費	571,000
団体賛助寄附受取会費	235,000
購読会員受取会費	9,000
受取会費合計	2,558,000
【受取寄付金】	
受取本部寄付金	232,976
受取国内寄付金	7,098,900
受取奨学金寄付金	3,947,260
受取ミャンマー寄付金	14,411,082
受取トンガ寄付金	891,000
受取寄付金合計	26,581,218
【受取助成金等】	
受取国内助成金	9,343,873
受取ミャンマー助成金	186,588,571
受取助成金合計	195,932,444
【事業収益】	
国内委託金収益	2,238,936
トンガ委託金収益	8,218,858
ミャンマー委託金収益	1,054,680
国内事業収益	1,223,985
ミャンマー事業収益	2,867,242
事業収益合計	15,603,701
【その他収益】	
受取 利息	130,349
債務免除益	2,830
雑 収 益	57,960
その他収益合計	191,139
経常収益 合計	240,866,502

経常費用	
【事業費】	
人件費	37,955,043
その他経費	201,365,091
事業費合計	239,320,134
【管理費】	
人件費	11,327,074
その他経費	7,157,317
管理費合計	18,484,391
経常費用 計	257,804,525
当期経常増減額	-16,938,023
【経常外収益】	87,589,699
【経常外費用】	81,007,507
税引前当期正味財産増減額	-10,355,831
法人税、住民税及び事業税	81,000
当期正味財産増減額	-10,436,831
前期繰越正味財産額	332,530,599
次期繰越正味財産額	322,093,768



NPO 法人国際協力 NGO センターより
2015 年に ASC2012 の認証を受けました。

貸借対照表

(単位:円|税込) 2026年3月31日現在

資産の部			負債・正味財産の部		
科目	金額		科目	金額	
【流動資産】	前期末	今期末	【流動負債】	前期末	今期末
(現金・預金)			未 払 金	2,185,950	2,205,869
現 金	251,171	770,315	前 受 金	1,224,000	0
普通 預金	250,642,565	240,031,162	預 り 金	7,818,119	6,348,962
現金・預金 計	250,893,736	240,801,477	未払消費税等	567,000	660,800
(売上債権)			流動負債 計	11,795,069	9,215,631
未 収 金	9,971,139	1,418,792	負債合計	11,795,069	9,215,631
売上債権 計	9,971,139	1,418,792	正味財産の部		
商 品	64,590	64,590	前期繰越正味財産額		
貯 蔵 品	80,000	80,000	当期正味財産増減額	211,624,830	332,530,599
棚卸資産 計	144,590	144,590	正味財産 計	120,905,769	-9,434,831
(その他流動資産)			正味財産の部 合計	332,530,599	323,095,768
立 替 金	0	0			
預 け 金	0	0			
前払 費用	14,850	6,470			
ミャンマー未使用資金	81,007,507	87,589,699			
流動資産合計	342,031,822	329,961,028			
【固定資産】					
(投資その他の資産)					
什 器 備 品	293,846	350,371			
出 資 金	2,000,000	2,000,000			
固定資産合計	2,293,846	2,350,371			
資産合計	344,325,668	332,311,399	負債・正味財産合計	344,325,668	332,311,399

財産目録

(単位:円|税込) 2026年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	240,801,477	未払金	2,205,869
手許現金	770,315	前受金	0
普通預金	240,031,162	預り金	6,348,962
未収金	1,418,792		660,800
棚卸資産	64,590		
貯蔵品	80,000		
立替金	0		
前払費用	6,470		
預け金	0		
ミャンマー未使用資金	87,589,699		
流動資産合計	329,961,028	流動負債合計	9,215,631
2. 固定資産			
什器備品	350,371		
出資金	2,000,000	負債合計	9,215,631
固定資産合計	2,350,371	正味財産	323,095,768
資産合計	332,311,399	負債及び正味財産合計	332,311,399

監査報告書

2026年 6月 15日

特定非営利活動法人地球市民の会
理事長 山口 九郎 殿

監事 田嶋 剛夫

監事 八谷 浩司

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の特定非営利活動法人地球市民の会の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、重要な会計の簿季録その他の重要資料を閲覧するほか帳簿から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証憑書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続を行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、2025年度の特定非営利活動法人地球市民の会の財産の状況は適正なものと思われる。

監 査 人

皆さまからの直接の応援が、
現場の大きな力になります。
ご支援の方法は巻末ページへ!



より動きやすく、持続可能な組織へ

新しい理事会体制が始まります

地球市民の会では近年、理事会の人数が多いことによる意思決定の難しさや、常勤理事・事務局への負担集中など、組織運営上の課題が大きくなっていました。そこで2026年度から、より機動的で持続可能な運営を目指し、新しい理事会体制に移行します。これからも、会員・支援者・協力者の皆さんとともに、よりよい地球市民の会をつくっていきます。



責任を分かち合う

一人に責任や負担が集中しない体制を目指します。



多様な参加を大切に

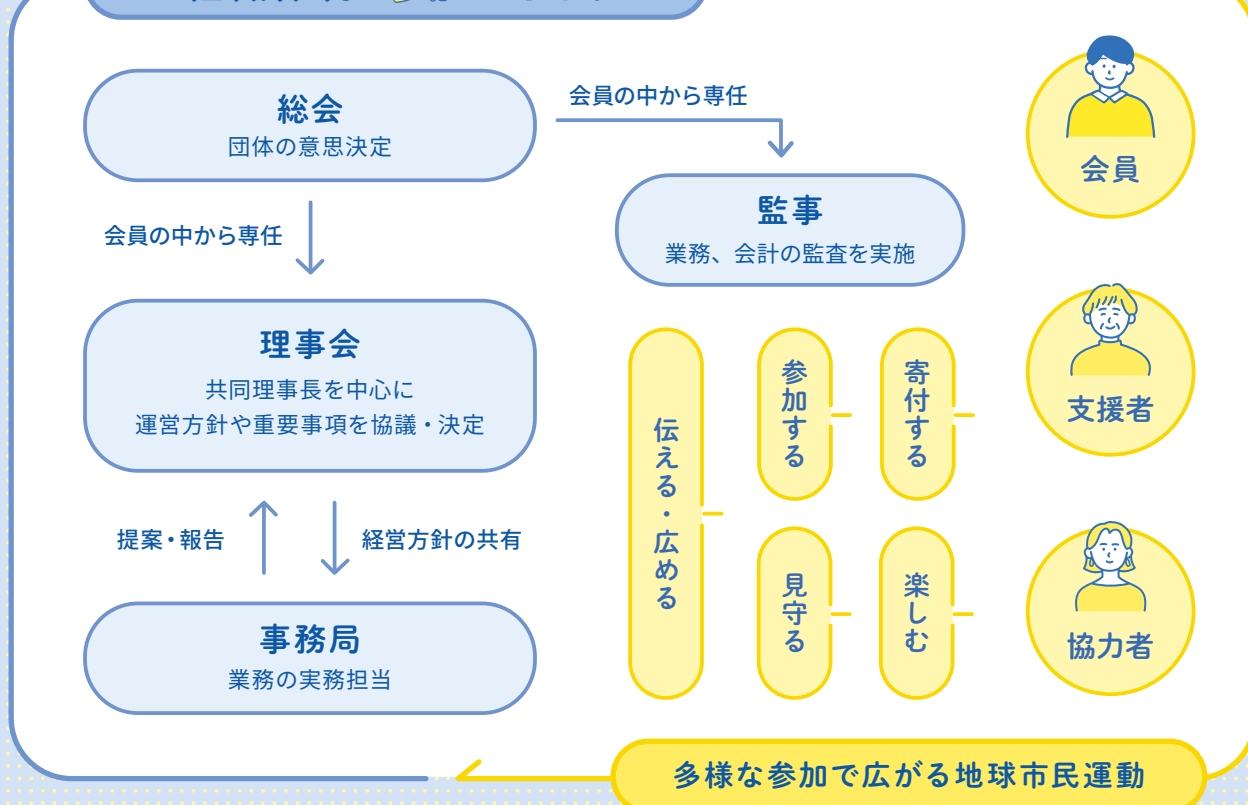
会員・支援者・協力者など、さまざまな立場の参加とつながりを大切にしながら、活動を進めていきます。



より機動的に動く

理事会をコンパクトにし、経営とガバナンスにより集中できる体制へ移行します。

組織体制と参加のしかた





私たちについて

■ 団体概要

名称 特定非営利活動法人地球市民の会
設立 1983年7月
(2002年に法人取得、2010年に認定NPO法人となる)

■ 活動対象国

日本国内、ミャンマー、スリランカ、中国、韓国、トンガ

■ 体制

本部事務局(佐賀)|職員10名
ミャンマー事務所|ローカルスタッフ20名

■ 全国のネットワーク

北海道地球市民の会、地球市民の会東京
地球市民の会ぎふ、地球市民みえの会、神戸有頂天倶楽部
愛媛地球市民の会、北九州地球市民の会、地球市民の会福岡
(一社)アイ・オー・イー、(一社)和スポーツさが
(一社)ユニバーサル人材開発研究所、(同)葉隠

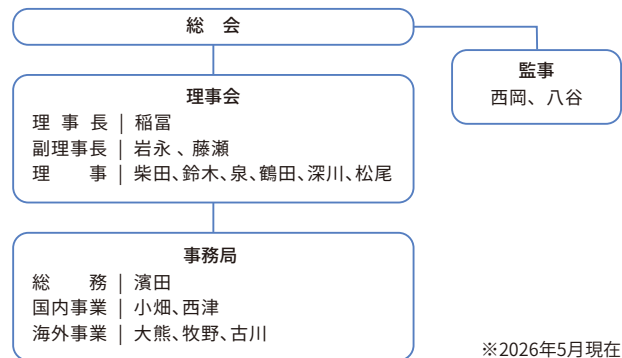
■ 主な褒章

1988年 サントリー地域文化賞
1989年 国際交流基金地域交流振興賞
1994年 佐賀県県政功労者知事賞
1996年 自治大臣表彰
1996年 厚生大臣感謝状
2000年 外務大臣表彰
2003年 にしぎんアジア貢献賞
2006年 地球倫理推進賞
2006年 文部科学大臣奨励賞
2017年 かめのり賞
2017年 社会貢献支援財団賞

■ 地球市民の会の歴史

1973年 「佐賀フランス研究会」設立(地球市民の会の前身)
1980年 「古賀英語道場・佐賀日仏文化会館」設立
1983年 「地球市民の会」設立
1986年 第1回小さな地球計画開始
1987年 日タイ協力事業開始
1988年 日韓交流プログラム「かちがらす計画」開始
1990年 地球市民奨学金開始
1992年 人間の持つべき文明「テラアピール」発表
1993年 地球共感シンポジウム、アジア太平洋協力会議 実施
1995年 地球市民運動全国会議実施、スリランカ協力事業開始
2002年 NPO法人格取得
2003年 ミャンマープロジェクト開始
2008年 創始者 古賀武夫 逝去
2009年 人間の持つべき文明2009「テラアピール2009」提唱
2009年 佐賀市中山間地域づくり事業開始
2010年 国税庁より認定NPOとして認定
2011年 ASC2008認証
2011年 東日本大震災復興支援事業開始
2013年 創立30周年記念・北澤氏講演会
2015年 ASC2012認証
2016年 平成28年熊本地震支援事業開始
2017年 非営利組織評価認証
2017年 タイ地球市民奨学金終了
2018年 地球を翔けた異風者 古賀武夫伝 出版
2019年 グッドガバナンス認証
2019年 佐賀豪雨災害支援開始(佐賀災害支援プラットフォーム結成)
2021年 地球市民共生意業開始
2023年 創立40周年記念式典およびレセプション、カンファレンス

■ 組織図



■ 役職者

永久名誉会長 古賀 武夫
名誉会長 山口 祥義 佐賀県知事
名誉副会長 坂井 英隆 佐賀市市長
顧問 井戸 敏三
顧問 西浦 聡子 佐賀県多文化共生さが推進課 課長
顧問 今村 雅弘
顧問 大串 博志
顧問 小原 健史 (株)和多屋別荘 会長
顧問 小山 高生 脚本家
顧問 坂井 学 衆議院議員
顧問 薩摩 和男 (株)美々卯会長
顧問 三遊亭 園歌 落語家
顧問 上甲 晃 志ネットワーク代表
顧問 草場 一壽 今心工房 陶彩画家
顧問 中尾 清一郎 (株)佐賀新聞社 代表取締役社長
顧問 原口 一博
顧問 福岡 資徳 参議院議員
顧問 マリ クリスティーヌ 有限会社エムキューブインターナショナル
顧問 山下 雄平 参議院議員
相談役 青柳 達也 大阪経済法科大学
相談役 有岡 大介 有岡合同会社代表
相談役 鶴丹谷 清和 TUマネジメント株式会社 代表取締役
相談役 古賀 大之 一般社団法人和スポーツクラブさが 理事長
相談役 小松 敏正 小松商店 金属部代表
相談役 佐藤 昭二 一般社団法人ふる里再生協会 専務理事
相談役 副島 正幸 潮音寺住職
相談役 田島 広一 田島株式会社 代表取締役
相談役 田中 啓之 武雄県税事務所滞納整理担当係長
相談役 平野 喜幸
相談役 藤 雅仁
相談役 古川 久美子 一般財団法人文化・芸術の泉アール・フォンテヌ代表理事
相談役 藤戸 小百合 佐賀県農林水産部農業経営課 農福連携コーディネーター
相談役 前田 英彦
相談役 満岡 聡 満岡内科消化器科医院 院長
相談役 峰 悦男 峰公認会計士事務所 代表
相談役 宮地 大治 SDCソリューションズ株式会社 代表取締役社長
会長 小原 嘉文 嬉野温泉配湯株式会社 代表取締役社長
副会長 多良 淳二 佐賀県地域づくりネットワーク協議会 地域づくりアドバイザー
副会長 山口 久臣 一般社団法人アイ・オー・イー 代表理事
副会長 山下 雄司 株式会社サガプリンティング 専務取締役
理事長 稲富 正人 佐賀県中小企業団体中央会 アドバイザー
副理事長 岩永 清邦 特定非営利活動法人地球市民の会
副理事長 藤瀬 伸恵 特定非営利活動法人地球市民の会
理事 泉 万里江 小城市議会議員
理事 柴田 京子 特定非営利活動法人地球市民の会
理事 鈴木 亜香里 特定非営利活動法人地球市民の会
理事 鶴田 さゆり 佐賀県佐賀土木事務所 主任主査
理事 深川 千幹 佐賀県協力隊を育てる会 副会長
理事 松尾 大輔 株式会社松尾クリエイション 専務取締役
監事 西岡 剛志 佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
監事 八谷 浩司 佐賀商工会議所 理事・事務局長



会長 小原 嘉文

ご挨拶

地球市民の会は今回、始めて以来ともいえる大きな組織改革と理事会体制の刷新に踏み出しました。ここに至るまでには、数か月にわたり、さまざまな立場から率直な意見を出し合い、言いにくいことにも向き合いながら議論を重ねてきました。創設者・古賀武夫の「行動第一」の精神は、今も私たちの原点です。その思いを次の時代へどう受け継ぐかを問い続け、変えるべきところは変え、守るべきものは守りながら、地球市民の会らしい歩みをこれからも着実に進めてまいります。

地球市民の会より皆さまへ | ご支援のお願い

地球市民の会は皆様のご寄付によって支えられ、活動ができております。
会員、寄付、ふるさと納税、ボランティアなど、様々な方法で皆様のご協力を
募っております。地球市民の会へのご寄付は寄付金控除の対象です。

action A 寄付で支援する

1 地球市民の会の活動を支える | 地球市民サポーター 月1,000円～

「世界中の人がお互いに支え合い、人の幸せを願える社会を作る」地球市民の会の国内外の活動を支援します。

2 佐賀県 ふるさと納税

地球市民の会を選んで、ふるさと納税をするだけ！佐賀県内在住の方もご寄附は可能ですが、総務省からの通知により返礼品などをお送りできませんので予めご了承ください。
詳しくは検索！ [ふるさと納税 地球市民の会](#) [検索](#)

action B 物品の寄付で支援する

1 古着（ブランド品）

ブランド品（洋服やバッグなど）は買取サービス「Brand Pledge」を通じてご寄付いただけます。

[Brand Pledge 地球市民の会](#) [検索](#)

2 貴金属・カメラなど

お宝エイドで自宅に眠るお宝品を査定し、査定額に10%を上乗せした額が奨学金支援に繋がります。

[お宝エイド 地球市民の会](#) [検索](#)

3 古切手・書き損じはがき

未使用の切手、消印のある使用済み切手、余った年賀状や印刷間違えて出せない官製ハガキを事務局までお送りください。

action C ボランティア・インターンとして参加する

随時募集しています。興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

ご支援は
コチラから！



みんなのしあわせが
私のしあわせに



認定NPO法人地球市民の会

〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL 0952-24-3334 FAX 0952-26-4922
業務時間 土・日・祝を除く 9:00-17:30



MAIL office@terrapeople.or.jp
HP <http://www.terrapeople.or.jp>

